

新しい設計疲労曲線と疲労解析に関するシンポジウム

— 産業を超えた合理的な共通基盤の構築に向けて —

(第55回 国内シンポジウム)

日時 : 2020年7月10日(金) 10:00 ~ 17:00

場所 : 新大阪丸ビル別館 2階 2-3号室

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18番22号

主 催

一般社団法人日本溶接協会

(企画 : 原子力研究委員会)

後 援

一般社団法人	火力原子力発電技術協会	公益財団法人	原子力安全技術センター	公益財団法人	原子力安全研究協会
一般社団法人	原子力安全推進協会	特別民間法人	高圧ガス保安協会	一般社団法人	日本機械学会
一般社団法人	日本原子力学会	一般社団法人	日本原子力産業協会	一般社団法人	日本高圧力技術協会
公益社団法人	日本材料学会	公益社団法人	日本船舶海洋工学会	一般社団法人	日本鉄鋼協会
一般社団法人	日本電気協会	一般社団法人	日本非破壊検査協会	一般社団法人	日本ボイラ協会
一般社団法人	日本保全学会	一般財団法人	発電設備技術検査協会	公益社団法人	腐食防食学会
一般社団法人	溶接学会				

(50音順 依頼中あり 令和2年3月31日現在)

開催趣旨

(一社)日本溶接協会 原子力研究委員会では、最新情報の交換、今後の動向に関する討論等を目的として、国内シンポジウムを開催しています。例年、本シンポジウムは原子力産業に携わる方を対象としていますが、昨年は全産業の研究者・技術者の方にも有益な情報の交換、議論の場となるシンポジウムを企画しました。その結果、幅広い産業分野からのご出席をいただくことができ、再開催のご要望を数多くいただきました。そこで、本年度の第55回シンポジウムは昨年度とほぼ同じ内容で関西地区の開催としました。

ASME Boiler and Pressure Vessel Codeに代表されるように、海外では最新知見に基づき定期的に見直しを図った規格、基準等によって原子力を含む産業機器の疲労解析、疲労設計が行なわれています。一方、原子力を例にすると、国内では数十年前に策定された疲労解析法が現在も適用され、見直しの必要性が高まっています。そこで、昨年度の第54回シンポジウムとして、「新しい設計疲労曲線と疲労解析に関するシンポジウム - 産業を超えた合理的な共通基盤の構築に向けて -」を企画致しました。本シンポジウムは昨年度の内容をブラッシュアップしたものです。

本シンポジウムでは、原子力研究委員会内の小委員会で策定した新たな設計疲労曲線と疲労解析法について、最適疲労曲線の構築、疲労限度設定の考え方、新たな平均応力補正法の導入、設計係数の見直し、大型試験片による検証等の観点から、策定に携わった専門家を講師に招きご講演いただきます。

新たな設計疲労曲線と疲労解析法は、産業を超えた合理的な共通基盤の構築を目指して策定されています。

原子力に限らず多くの分野の研究者、技術者に本シンポジウムへ参加いただき、議論いただきますよう、ご案内申し上げます。

新しい設計疲労曲線と疲労解析に関するシンポジウム

一 産業を超えた合理的な共通基盤の構築に向けて 一

(第55回 国内シンポジウム)

於：新大阪丸ビル別館 2階

2020年7月10日(金)

(敬称略)

時 間	講 演 題 目 ・ 講 師	司 会
10:00~10:05	開会の挨拶 笠原 直人 (原子力研究委員会 幹事/企画検討会 主査 国立大学法人東京大学 教授)	
10:05~10:25 (20 分)	新しい設計疲労曲線と疲労解析に関するシンポジウムの開催にあたって 小川 武史 氏 青山学院大学	中村 晶 <small>(株)原子力安全システム研究所</small>
10:25~11:25 (60 分)	新たな設計疲労曲線と最適疲労曲線策定の概要 朝田 誠治 氏 三菱重工業株式会社	
11:25~12:15 (50 分)	変動応力を考慮した高サイクル域の設計疲労曲線と疲労限度の検討 平野 明彦 氏 日立GEニュークリア・エナジー株式会社	
12:15~13:00	昼 食・休 憩	
13:00~13:50 (50 分)	疲労解析における新たな平均応力補正法(SWT法)の導入 小川 琢矢 氏 東芝エネルギーシステムズ株式会社	佐々木 亨 川崎重工業(株)
13:50~14:40 (50 分)	疲労解析に適用する表面性状に関する設計係数の再検討 中根 一起 氏 日立GEニュークリア・エナジー株式会社	
14:40~15:00	休 憩	
15:00~16:00 (60 分)	大型試験片による設計疲労曲線の検討 野村 雄一郎 氏 高梨 正祐 氏 三菱重工業株式会社 株式会社 IHI	月森 和之 福井大学
16:00~16:50 (50 分)	新たな設計疲労曲線による疲労解析の例と今後の展開 菅田 淳 氏 板谷 雅雄 氏 国立大学法人広島大学 東芝エネルギーシステムズ株式会社	
16:50~17:00	閉会の挨拶 吉村 忍 (原子力研究委員会 委員長 国立大学法人東京大学 教授)	

* 講師その他止むを得ない事情により、一部変更がある場合はお許し下さい。

* * 各講演時間は、ディスカッションの時間を含みます。

【 開 催 要 領 】

1. 参加費

会 員：22,000円 (テキスト代、昼食代、消費税を含む)

非会員：24,200円 (テキスト代、昼食代、消費税を含む)

※ (1)会員とは日本溶接協会 本部団体会員 <http://www-it.jwes.or.jp/kain/kaindsp.jsp> 参照

および日本溶接協会 指定機関 <http://www-it.jwes.or.jp/office/map.jsp> 参照の会員です。

(2)後援団体会員は、日本溶接協会会員に準拠する。

2. 定 員

120名 ※申込先着順とし、定員になり次第締切らせていただきます

3. 申込締切日

2020年7月1日 (水)

4. 申 込 方 法

◎受講のお申込は、オンラインにて受付致しております。

下記に記載されておりますURLに当協会で開催予定の シンポジウム、講習会の一覧が表示されます。「新しい設計疲労曲線と疲労解析に関するシンポジウムー 産業を超えた合理的な共通基盤の構築に向けてー (第55回 国内シンポジウム)」を選択し、申込情報をご入力下さい。

◎オンライン申込み後「申込み完了メール」内容を確認し、問題がなければ「受講案内メール」が配信されます。受講案内メールには受講番号が明記されております。当日印刷等の上、ご持参下さい。

◎参加費は、下記へご送金下さい。(銀行振込手数料は各自ご負担下さい)

三井住友銀行 神田駅前支店 普通口座 No. 140912 (一社)日本溶接協会

(原則として銀行口座への振込みをもって領収書に代えさせていただきます)

◎請求書、領収書をご希望の方は、申込情報の「摘要欄」にご記載下さい。

◎お振込後の参加費は返却いたしません。欠席の場合は、代理出席をお願いいたします。

◎資料は、当日会場受付にてお渡しいたします。

ただし、講演に使用したパワーポイントのデータは提供いたしません。

下記QRコードからもお申込み可能です

お申込みはこちらから(オンライン受付)

<https://www-it.jwes.or.jp/seminar/>



